

診断学演習

責任者・コーディネーター	循環器内科分野 森野 禎 教授		
担当講座・学科(分野)	医学部臨床系講座		
担 当 教 員	医学部臨床系講座教員		
対象学年	4	区分・時間数	演習 144.0 時間
期 間	後期		

・学習方針（講義概要等）

患者の訴えからその病気の診断までの思考過程を確立する。つまり、患者基本情報、患者観察、医療面談、身体診察、検査の選択と結果の解釈、治療閾値、診断のスパイラルを検証する。

学生ガイダンス時に提示される授業日程により次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

・教育成果（アウトカム）

症候学・診断学を通して、患者に起きている病態生理、起きようとしている病態の把握を行い、診断にまで到達することができる。さらには、治療の選択を、患者のいろいろな情報を基礎に選択でき、選択した時に治療効果を評価することができる。

・到達目標（SBO）

1. 患者の基本情報を基に疾患の類推をすることができる。
2. 患者の観察情報を通して、可能性のある疾患をさらに絞ることができる。
3. 医療面接情報を通して、可能性のある診断に至ることができる。
4. 理学的所見情報を通して、可能性のある診断に至ることができる。
5. 検査情報を通して、考えられる疾患の鑑別診断が可能となる。
6. 患者の複雑な背景の中で、どのような治療を選択すべきかを考えることができる。

・ 講義日程

(矢) 西 104 1-D 講義室

【講義】

月日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
10/19~11/20	1~4	医学部臨床講座	医学部臨床講座教員	各講座による

※詳細については、学生ガイダンス時に通知する。

・ 成績評価方法

試験による。